

しほ
Shika Town

6

2018
(平成30年)

No.154

のとキリシマツツジ オープンガーデン



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
インストール
はこちら



土田の郷オープンガーデン 2018 より、
写真は のとキリシマツツジ土田の郷
センチュリー会 会長の辻口武志 邸

6月は食育月間、毎月19日は食育の日です



しかまち食育通信

食育とは健康的な生活を送るために、食に関するあらゆる知識を育むことです。食べることは生涯にわたって続く基本的な営みであり、子どもはもちろん大人になっても「食育」は重要です。まずは「食」に関心を持ち、考えてみることから始めてみませんか？

食育推進の主な取り組み



食育の日及び食育月間における取り組み

食育月間である6月に、町内の保育園・幼稚園にて、保護者向けの啓発資料として、朝ごはんに関するリーフレットを作成・配布し、食育推進の呼びかけを行っています。

また、町内の小学校で食育を推進するのぼり旗を設置、校内での朝ごはんに関するポスターの掲示などの取り組みも行っていきます。

幼稚園・保育園・学校等での取り組み

幼稚園・保育園では、野菜の栽培・収穫体験を行っています。

また、野菜クイズや朝ごはんの大切さを伝える栄養教室、旬の食材を使ったクッキングなどを行い、食べることの楽しさ、食事のマナーについて伝え、正しい食習慣を身につける機会としています。



学校では、栄養教諭や学校栄養職員が各学校を訪問し、児童生徒が豊かな食習慣を身に付け、健康な食生活が送れるよう、食に関する指導を行っています。

また、幼稚園・保育園・小中学校では、郷土料理の「あいまぜ」や、地場産物を取り入れた給食の提供を行っています。



食育推進の主な取り組み



志賀高校での食育講座の開催

若い世代への取り組みの一環として、志賀高校の3年生対象に食育講座を開催しています。

講座では、「バランスのよい食事」をテーマに講義と調理実習を行い、講座を通して、食について改めて考え、自分の食生活を見直す機会としています。



食育ネットワーク会議の開催

保育園・幼稚園・学校や地域のボランティア団体、農林漁業者等、食育に係わる多様な関係者が、情報交換や連携を図るための、食育ネットワーク会議を開催し、食育を推進しています。



町では、平成29年3月に策定した、「第2次志賀町食育推進計画」に基づき、関係団体・機関が連携を図りながら、子どもから高齢者まで幅広い世代への食育推進活動を行っています。



食生活改善推進員を知っていますか？

* 「食生活改善推進員」とは

食生活改善推進員、通称“食改さん”は「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、食を通じた健康づくりに取り組んでいるボランティアグループです。



* こんな活動を行っています



各地区での生活習慣病予防を目的とした減塩料理教室等の開催。調理体験や共食の機会として、おやこの食育教室の開催や、男性の料理教室への協力など、志賀町では現在98名の会員が子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、健康づくりや食生活の大切さを伝える活動を行っています。

* どうしたら食改さんになれるの？

町が主催する食生活改善基礎コースセミナーを修了すると、食改さんになることができます。志賀町民であれば、どなたでもセミナーを受講することができます。男性の方も大歓迎！！

食生活改善基礎コースセミナー受講者募集！

「食生活改善推進員」の養成講座を開催します。食生活や健康づくりについて学んでみませんか？

【日程】 全6回で1コース（※1回ごとの参加はできません）

回	月 日	場 所
1	7月4日(水)	志賀町保健福祉センター
2	7月18日(水)	富来活性化センター
3	8月8日(水)	志賀町保健福祉センター
4	8月22日(水)	富来活性化センター
5	9月5日(水)	野外活動
6	9月26日(水)	富来活性化センター



【内 容】 健康、口腔に関する講義、調理実習、運動実技（※申込み後に詳細日程を郵送します）

【申込期間】 6月27日(水)までに申込みください。

【申込・問合せ先】 志賀町保健福祉センター ☎32-0339



地域公共交通だより



企画財政課 ふるさと創生室
☎32-9301

各公共交通の位置付けの整理と今後の方向性

○現在の位置付け

現在、志賀町では路線バスとコミュニティバスが運行しています。以下に、その特徴や公共交通のなかでの位置付けをまとめます。

種類	特徴	路線名	位置付け	備考
路線バス	町域を超える運行	北鉄外浦線 北鉄富来急行・富来線 北鉄高浜線 北鉄後山線	幹線	
	町内での運行	北鉄志加浦線 北鉄加茂循環線	支線	コミュニティバスとの役割分担が曖昧
コミュニティバス	きめ細かいエリアで運行	16 路線	支線	

○今後の方向性

運転手の不足などの理由から、平成31年度末で路線バスの志加浦線と加茂循環線が廃止となるためコミュニティバスによる代替運行を目指します。

また、経営の効率化を図るため、利用希望があったときのみ運行する「予約制のりあい交通」の運行実験を平成30年10月1日から1年間実施する予定です。

種類	特徴	路線名	位置付け	備考
路線バス	町域を超える運行	北鉄外浦線 北鉄富来急行・富来線 北鉄高浜線 北鉄後山線	幹線	JRとの接続向上、わかりやすいダイヤを目指します。
	町内での運行	北鉄志加浦線 北鉄加茂循環線	支線	平成31年度末で廃止予定
コミュニティバス	きめ細かいエリアで運行	増穂線を除く路線	支線	幹線との接続向上を図ります。
	路線バスの代替	志加浦線(朝夕) 加茂循環線(朝夕)	支線	路線バスと同等のサービスレベルを目指します。
予約制のりあい交通	コミュニティバスと同様にきめ細かいエリアで運行	増穂線(利用が少ない路線)	支線	平成30年度から運行実験を行い、幹線との接続向上および運行経費の削減を図ります。

有料広告欄

志賀千古温泉

アクアパーク シ・オン

営業時間

温泉 午前9時～午後11時
室内プール 午前9時～午後10時
レストラン 午前11時～午後10時

石川県羽咋郡志賀町末宮新保内22-1(道の駅ころもりの里しらか内)
※団体予約も承っております。☎0767-32-8555

離れて暮らす方も安心の住宅型老人ホーム

海が見える住宅型有料老人ホーム

能登和楽の里
入居相談受付中!

スタッフも募集中!

◎夜勤ヘルパー ◎レクリエーション担当
詳しい内容はホームページ「スタッフ募集」をご覧ください。

高台にあり万一の震災にも強い立地

能登和楽の里 検索

羽咋市寺家町セ2番1 ☎0767-22-7739
http://notowarakunosato.com

春の叙勲

地域住民から推されて旧志賀町議会議員として、初当選以来、合併後の平成23年5月まで8期31年7カ月の長い間、志賀町の町政に尽力しました。

その間、議長、副議長、議会運営委員会委員長、農林商工建設常任委員会委員長、教育民生常任委員会委員長、生活環境等対策特別委員会委員長などを歴任し、地域の発展と住民福祉の向上、産業振興、環境整備

の促進に貢献しました。

特に、平成12年9月から2年1カ月の間、議長として議会の円滑な運営に尽力しました。旧志賀町、旧富来町の合併の話が持ち上がった時期で執行部と議会の調整に努め、議長を終えた後は合併協議会の委員として引き続き新町誕生に寄与しました。

旭日双光章



稲村 幸雄 さん
(70歳) ー百浦ー

受章することができ、お世話になったたくさんの人に感謝しています」と話しました。

稲村さんは、「皆さんの協力や支えがあつて志賀町議会議員を務める

旭日双光章



下池 新悟 さん
(71歳) ー高浜町ー

「最近、ジュニアレスリング教室の選手たちが全国大会で常に上位入賞するまでに育ってきた。将来の五輪選手が出てくれれば」と期待します。

石川県のレスリング協会が設立された昭和38年に星稜高校で仲間9人と石川県内初のレスリング部を創設し1年目で国体の大舞台に出演。大卒卒業後に石川県レスリング協議会の常任理事に就任し、平成23年から会長を務めます。

く全国大会や国際大会の誘致・運営に携わり、県内のレスリング競技の普及・振興に尽力しました。特に平成3年の石川県国体では、監督を務め、レスリング競技で石川県が初の総合優勝を果たし志賀町が「レスリングの町」と言われる所となりました。現在は、2020年東京五輪にむけて志賀町へのアゼルバイジャンチームの事前合宿誘致を町と共に目指します。

平成30年春の叙勲が4月29日に発表されました。志賀町から稲村幸雄さん(百浦)、下池新悟さん(高浜町)、寺岡一夫さん(富来地頭町)、大橋悟さん(酒見)の4人と志賀町出身の浦正明さん(金沢市)が受章しました。

旭日双光章



寺岡 一夫 さん
(72歳) —富来地頭町—

富来中学校を卒業し家業の食肉小売業を継ぎ、昭和47年に寺岡畜産(株)を設立。同年から石川県家畜商業協同組合理事となり42年間理事を務めた後、平成26年から理事長として畜産振興に尽力しました。

求められ全国的にブランド化が広がりました。早くから「大きさよりも味のいい能登牛」を目指す寺岡さんは、自ら率先して能登牛のブランド化や生産量の拡大に畜産農家と連携を図りながら取り組んできました。

現在は、自身でも能登牛繁殖センターで能登牛を育てブランド強化や生産量の拡大を進めます。これから「うまい牛を育てる後継者の育成が自分の責務です」と話しました。

瑞宝単光章 大橋 悟

さん(70歳) —酒見—

昭和44年に富来町消防団第6分団に入団以来、32年9カ月にわたり、旧富来町の防災に尽力しました。

瑞宝小綬章 浦 正明

さん(77歳) —金沢市—
(志賀町出身)

石川県警交通部長などを歴任し、県民の安全安心に尽力しました。

法律相談

施設に同居した親の 金銭管理について

Q: 母が介護施設に同居することになりました。母はお金の管理はできません。年金の管理や施設への使用料、日常的な買い物などの支払いはどうしたらよいでしょうか。

A: 自分で金銭の管理ができるのであれば、自分で預金通帳などを保管し、施設の職員に頼んでお金を引き出してもらいそのお金を使うことができますが、自分で管理できない場合は、誰かに管理をしてもらうしかありません。その方法として、①本人の親族など、信頼できる人に預金通帳などを預け、施設からの請求に応じてお金を引き出し支払ってもらう方法②施設にお金を預け、必要の都度引き出してもらう方法③市町村の福祉協議会が窓口となって実施する日常生活費についての金銭管理サービス(日常生活自立支援事業)を利用する方法などが考えられます。①②③の方法は、本人の意思に基づいて預けることが必要であり、認知症などにより本人の判断能力が失われている場合は、本人を含め、いかなる人も金銭管理を依頼することはできず、法定後見人制度を利用しなければ、金銭管理を法的に正当な形で実施すること

・弁護士 國田 武二郎 (堀松出身)

東京地検、名古屋地検、横浜地検、仙台高等検察庁検事等を歴任。
現在、あすなる法律事務所を開設し、愛知県弁護士会の弁護士として活動。



とはできません。また、①②の場合でも、金銭管理が、適正に行われている仕組みになっているかどうか確認する必要があります。①の場合、信頼関係以外に管理の安全を保障する方法はないので、使い込まれてしまった場合、被害回復は困難であることを認識すべきです。その点で、自己責任といっても過言ではありません。②の場合、施設の管理体制として、・預り金取扱規程が作成されている・預ける物は通帳と銀行印(キャッシュカードは預からない)・複数の職員が関与して管理を実施しているか(通帳と印鑑の保管責任者が別になっているなど)・利用者個別の金銭出納帳が作成されているか・本人(あるいは本人が指定する者)への定期的報告(金銭出納帳に通帳の写し、領収書などを添付)がされているかなどを確認してみるとよいと思います。特に、施設が金銭管理することについて、手数料を徴収する場合は、手数料の明確化とともに、管理体制についてきちんと説明を受ける必要があります。③については、福祉協議会に問い合わせ、相談してみると良いでしょう。相談は、無料ですが、金銭管理等のサービスを利用する場合、利用料がかかると思われます。